

# 2026年度・人文学研究所 シンポジウム 「日中文化交流と上海」

本シンポジウムは、20世紀初頭の日中文化交流を「上海」という観点から捉え直すことを目指すものです。20世紀に入り国際都市として浮上した上海は、両国の文化交流を媒介する重要な役割を担い、多くの中国人日本留学生がここを拠点に活動しました。中国を代表する文化人である魯迅、田漢、欧陽予倩らも上海で活躍しましたが、彼らを支えた日本人の一人に、内山書店を経営した内山完造がいます。今回は、この日中文化交流と上海に焦点を当て、現在の日中両国の相互理解を深める契機となることを目指しています。また、シンポジウム開催に合わせて、みなとみらいキャンパスにて「日中文化交流と上海」に関連するパネル展も開催いたします。

◎日時：2026年9月19日（土） 13時—18時

◎会場：みなとみらいキャンパス5階 中小ホール（対面開催）

◎司会 郭夢垚（神奈川大学、非常勤講師）

◎基調報告

- 1 日中文化交流と上海 菊池敏夫（神奈川大学、元特任教授）
- 2 日本における魯迅研究 鈴木将久（東京大学、教授）

報告

- 1 魯迅の美術活動と日本 東家友子（神奈川大学、博士課程）
- 2 上海と内山完造 内山深（内山書店、代表）
- 3 芥川龍之介と留日中国知識人一田漢・李人傑・「譚永年」  
張東悦（田漢基金会・東京大学博士課程）
- 4 田漢脚色の戯曲『阿Q正伝』 林茜茜（田漢基金会・明治大学非常勤講師）

コメンテーター 孫安石（神奈川大学） 森平崇文（立教大学）

◎主催：人文学研究所・日中関係史共同研究班

◎共催：内山完造研究会

※参加を希望される方は、右側のQRコード  
または[参加申し込みフォーム](#)からお申し込みください。

